

“クラウドサービスとの連携で Rails は一番力を発揮します”

株式会社インプレスホールディングス 執行役員 有田健二氏
株式会社インプレスホールディングス システム戦略室 サブマネージャ 野村雅人氏
株式会社 DTS IT サービス事業本部 IT サービス営業部 部長 中島宏氏
株式会社 DTS IT サービス事業本部 IT インテグレーション事業部 プロジェクトリーダー 大西正太氏



×



会社名株式会社インプレスホールディングス
活用分野 EC 決済基盤システム
利用技術
Ruby on Rails 3 / Ruby 1.9 Twitter Bootstrap, git +
Github, Redmine
開発会社 株式会社 DTS
ホームページ
<http://www.impressholdings.com/>
<http://www.dts.co.jp/>

ニーズおよび解決したかったこと

- ・ 早期にシステムを立ち上げたかった
- ・ 各種クラウドサービスと連携させたかった
- ・ システムが動く状態で改善していきたくかった

Ruby 採用理由

- ・ 簡潔な文法で書ける Ruby の高い保守性
- ・ 既存のシステムを Ruby on Rails で作成していた
- ・ 今後のサービス拡張を見据えて柔軟に拡張できる言語を採用したかった

Ruby 採用効果

- ・ 3ヶ月程度という短い期間でサービスをリリースすることができた
- ・ 利用事例が多く、クラウド連携の部分でも情報を探すのが簡単だった
- ・ コードがシンプルになり、機能改善のコストを減らすことができた

Ruby とクラウドサービスで実現した EC 決済共通基盤

共通決済システム基盤の統合という大きな目標

株式会社インプレスホールディングス（以下、インプレス HD）は IT、音楽、デザイン、山岳・自然、モバイルという 5 つの事業区分を主軸にし、グループ傘下に多くの企業を所有する複合メディア企業である。登山好きなら一度はお世話になるヤマケイ（山と溪谷社）と、Web 制作業界御用達の情報サイト「Web Creators」を運営するエムディエヌコーポレーションの両方が、インプレス HD のグループ企業であるというだけで、同社のカバーする事業領域の広さがわかるだろう。

インプレス HD はその傘下に多くの出版社を抱えており、それぞれが直販 EC サイトを持っていた。定期購読、書籍単体の通販、PDF のダウンロード販売など各種の販売形態があり、すべての出版社の足並みが揃っているわけではないが、決済システムを共通化することで、グループ企業全体の決済を見通したいというニーズを抱えていた。

インプレス HD は Ruby on Rails で月額会員制システムを内製した経験があり、実際に動くモックアップを作りながら修正していく開発工程に信頼を置いていた。そのため、新決済システムも Ruby on Rails で作成することに決めていたのだが、新たな決済システムを作成し、しかもそれを各出版社の EC 基盤として統合するというのはやはり重い課題であった。決済代行会社の契約更新が迫っていたこともあり、限られた期間でクリティカルなシステムを構築できる SI 企業の力が必要だった。

Web 検索などで幾つかの SI 企業が候補に挙がったが、結果的に発注することになったのは株式会社 DTS（以下、DTS）だった。決め手となったのは、創業 40 年を超える上場企業という信頼感と、Ruby アソシエーション認定システムインテグレータ Gold のお墨付きだった、とインプレス HD のシステム戦略室サブマネージャーである野村雅人氏は言う。

共有される情報の多い Ruby の文化

新決済システムの難しさの一つに「外部連携するシステムの多さ」があった。まず、決済システムである以上、決済代行会社のシステムとの連携は不可欠である。また、クラウドサービスとの連携もファイル配信やデータベースといった用途ごとに異なり、さらにその上、インプレス HD が元々持っていた基幹 DB とも連携しなければならない。連携時の API は複数あり、通信方式もそれぞれ異なる。決済システムにはミスが許されないため、

複雑な構成であっても堅牢なシステムを築かなければならなかった。

SI 企業である DTS は、2005 年頃から Ruby 開発の専門チームを持っており、開発経験も豊富だった。Ruby on Rails の PaaS として有名な heroku での開発実績もあり、クラウドサービスとの連携・利用に関しては熟知していた。それでも、はじめて接続するサービスに対しては調査する必要がある。この局面で Ruby の持つ文化が多いに役立った。

「Ruby の場合、検索するとすぐに情報を見つけられるのが便利なんです」と、DTS IT インテグレーション事業部プロジェクトリーダーの大西正太氏は言う。Ruby 開発者にはオープンソースの共有文化を親しむ者が多く、ちょっとしたコードをブログやプログラマ向け SNS の Github に公開することはよく行われている。たとえば、外部に対して SOAP API を提供している Java アプリケーションに対して Ruby on Rails アプリケーションから通信を行いたいと考えたとき、「Rails SOAP」と検索をかけたとしよう。すると、検索結果の中には実際に Ruby on Rails で SOAP API からデータを取得したというブログ記事が上ってくる。場合によっては、ライブラリ化されたソースコードが見つかることもあるだろう。もちろん、そのままコードをコピー&ペーストして終わりというわけではないが、とっかかりとなる情報がすぐに見つかることは Ruby の重要な資産であり、開発スピードの早さの一因でもある。

Ruby on Rails の持つ拡張性がもたらす開発スピード

Ruby on Rails ではある程度のまとまりを持った機能を gem というパッケージで個別に利用でき、これらの gem は Bundler というパッケージ管理ツールで柔軟にセットアップできる。これらの拡張を前提とした様々な機能が今回の開発では多いに役立ち、メールの文字化けが発生した際も、gem パッケージをアップデートするだけで修正することができた。クラウドサービスに接続するケースでも、サービスによっては接続用ライブラリを gem として配布しており、それをシステムに同梱するだけで簡単に利用できる。決済代行システムは Ruby ライブラリの提供を行っていなかったが、同システムの持つ API の接続用ライブラリは存在したため、スピーディに開発を行うことができた。「ライブラリ自体はそれなりに複雑なコードなのですが、それを継承して利用するクラスはとてもシンプルになるのが Ruby の特徴です」と、DTS 大西氏は言う。

また、システムの外観についても Twitter Bootstrap を利用するなど、すでに存在するフレームワークやライブラリを使いこなして工数を削減した。実際に動く画面を作りながら改善していく工程では、手戻りが当然発生する。修正が発生する以上、いかに少ないコストで変更を反映していくかが全体スケジュールに影響してくるのだが、バックエンドのシステムからフロントエンドのユーザーインターフェースまでを再利用可能な部品で構成す

ることで、この工数は削減できる。Rubyに通底するDRY原則（Don't repeat yourself = 同じことを繰り返すな）を徹底することで、スムーズな開発が可能になるのだ。

DTS 大西氏は「Ruby でなかったら、スケジュール内に納品することは難しかったかもしれません」と言う。共通決済システムは約3ヶ月という短期間でリリースすることができた。しかも、単にリリースにこぎ着けたというだけではなく、そのさらに3ヶ月後、機能をアップした改修を行っている。当然、今後も様々なメンテナンスを行っていく予定であり、Rubyの高い拡張性があるからこそ実現可能なスピード感だ。

将来的な拡張を見据えてのRuby採用

インプレスHDは決済システムを共通化することで、ECサイトの決済システムを出版社ごとに作る労力を省きたかっただけではない。その先には様々な構想を抱えており、今回のシステムリプレースメントはその一環でしかない。具体的な構想については「企業秘密」（インプレスHD執行役員 有田健二氏）ということで公開することはできないが、電子書籍の広まりで激動の時代を迎えている出版業界の一員として意味のある施策となることだろう。

DTS ITサービス営業部部長である中島宏氏は「Railsはクラウドサービスとの連携で特に力を発揮します」と言う。インプレスHD 野村氏もRuby on Railsが持つ拡張性には大きな信頼を寄せている。

変化の多い時代だからこそ、システムも柔軟に機能を拡張していかなければならない。膨大な顧客データの管理や大容量ファイルの配信、膨大なトラフィックへの対処など、システムに求められる要件は日々増えており、それを手軽に利用できるのがクラウドサービスである。クラウドサービスへの接続によってシステムは複雑化しがちだが、Rubyには簡潔な文法で書かれた豊富なライブラリが存在する。時代の要請に応えたシステム開発を行うとき、Rubyはその力を存分に発揮すると言えるのではないだろうか。

参考写真

共通決済基盤システムを利用した山と溪谷社の決済画面



山と溪谷社

メニュートップ ご利用案内

カート > 支払方法選択 > 請求先情報入力 > カード情報入力(カード払いのみ) > 配送先情報入力 > 注文内容確認 > 注文完了

ご注文内容

カート内の商品

商品名	単価(税込)	数量	小計(税込)
山と溪谷 定期購読 2013年8月号より1年間 (13冊)	¥11,999	1	¥11,999
合計額(税込)			¥11,999

買い物続ける レジに進む

山と溪谷社HOME | お問い合わせ | CLUB YAMAKEIについて | 会社概要 | フライバシーについて | インプレスグループサイト | インプレスグループトップ | 会員規約 | 特定商取引に基づく表示

Copyright ©2013 Yamakei Publishers co.,LTD., an Inpress Group company. All rights reserved.

情報提供：一般財団法人 Ruby アソシエーション

Ruby アソシエーションは、Ruby の普及と発展を目的として活動する組織です。

所在地：〒690-0003 松江市朝日町 478-18 松江テルサ別館 2F

TEL 050-5532-6886

設立：2011年7月27日

事業内容：開発支援事業、コミュニティ支援事業、情報発信事業、Ruby 技術者認定試験事業、Ruby 標準規格保守事業

URL：http://www.ruby.or.jp